

数学 (Ⅲ) 九州大学 経済 (経済工)、理、工、農、医 (保健—看護を除く全学科) 歯、薬、芸術工

<全体分析>

| | | | |
|------|-------|-------|-----|
| 試験時間 | 150 分 | 解答問題数 | 5 題 |
|------|-------|-------|-----|

| |
|--|
| <p>解答形式 全問記述式</p> <p>分量・難易 (前年比較) 分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)</p> <p>難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)</p> <p>出題の特徴や昨年との変更点 2022 年, 2023 年に出題されていた長文問題がなくなった。</p> <p>その他トピックス 今年も確率が出題されなかった。文理共通問題が 2 題あった。</p> |
|--|

<大問分析>

| 問題番号 | 出題分野・テーマ | 範囲 | コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど) | 難易度 |
|------|----------|--------|--|-----|
| [1] | 空間ベクトル | 数学 B | 三角形の面積の最大値を求める問題。 (2)は工夫して計算する必要がある。 | 標準 |
| [2] | 複素数平面 | 数学 III | 等式を満たす複素数について考える問題。 (2)の論証をどの程度までするのか難しい。 | やや難 |
| [3] | 整数 | 数学 A | 階乗を含む等式を満たす自然数の組を求める問題。 (3)の論証をきちんとするのが難しい。 | やや難 |
| [4] | 場合の数 | 数学 A | 3点以上の格子点を通る直線の個数を数える問題。 数が大きくないので、具体的に数えることが可能。 | 標準 |
| [5] | 積分法・極限 | 数学 III | 積分漸化式を用いた極限の問題。 不等式による評価を与えてはさみうちに持ち込む。 | 標準 |

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

| |
|--|
| <p>標準的な問題を中心にしっかりと演習を積み重ね、計算力をしっかり高めるだけでなく、さらに、ややレベルの高い発展問題にもチャレンジし、論証問題や融合問題などいろいろな出題に対応できる力を養っておきたい。</p> |
|--|